



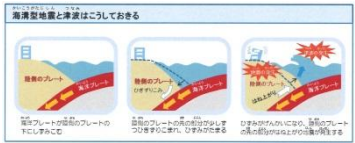
「防災教育テキスト」を活用した防災教育

学校名	岩国市立河内小学校	実施時間	学級活動
-----	-----------	------	------



1 ねらい

- 地震についての学習と緊急地震速報対応行動避難訓練とを連動させることで、実際に地震が起きた時に安全な行動をとることができるようにする。

2 展開

学習内容・活動	教師の働きかけ	指導上の留意点
<p>1 東日本大震災を振り返る。 ・地震と津波の恐ろしさ (VTR)</p> <p>2 地震と津波について知る。 ・震度 ・活断層型 ・海溝型 ・県内の主な活断層</p> <p>3 地震や津波から命を守るための備えについて考える。 ・建物内 ・歩行中 ・海岸付近</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・公開されている地震や津波の映像を見せ、地震と津波の恐ろしさを再認識させる。 ・「防災教育テキスト (地震・津波)」を読ませる。その際、震度等の用語を押さえ、海溝型地震と津波の原理についてはイラストで説明する。 ・K Y T資料のイラストを使って、屋内、屋外で起きると考えられる危険性と、身を守る体勢について意見交換を行わせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・映像にあるような災害は、決して他県だけのことではなく、岩国においても起こりうることを押さえる。 ・基本的な内容だけを教えることにとどめる。  <ul style="list-style-type: none"> ・地震は在校中に限らず、一人でもいる時にも起きる可能性があることを踏まえ、自分の命は自分で守る方法をしっかりと考えさせたい。最後は『防災教育テキスト』に書かれている安全な体勢について押さえておく。

緊急地震速報が出たら、どんな行動をとったらよいか？～緊急地震速報対応行動避難訓練～

<p>4 訓練説明放送を聞く。</p> <p>5 安全な体勢をとる。 ・机の対角の脚を押さえる</p>  <p>6 避難行動を開始する。 ・お … おさない ・は … はしらない ・し … しゃべらない ・も … もどらない</p> <p>7 運動場に整列する。</p> <p>8 県学校防災アドバイザーの指導講評を聞く。</p> <p>9 教室で避難訓練の振り返りをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童に机の下に潜るよう指示する。 ・担任は、避難経路確保のため扉を開ける。 ・地震収束後、メガホンで避難指示を出す (教頭)。 ・担任は児童を先導し、事前に定めている避難経路に従って運動場に避難する。  <ul style="list-style-type: none"> ・「お・は・し・も」のキーワードについて振り返りをさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・低学年には事前に説明しておく。 ・地震の効果音により不安な声を発する児童がいる場合は、「大丈夫」「心配しないで」等の声掛けを行い、落ち着かせる。 ・講堂等で近くに机等がない場合、担任は「上から物が落ちてこない」「横から物が倒れてこない」場所を瞬時に見つけ、そこで体勢を低くする指示を出す。 ・「余震」を想定して、周囲の状況を注視しながら建物から離れて避難させる。 ・避難誘導職員は、安全に避難できるよう玄関前、階段、坂道で声掛けを行う。 ・全員が避難したかどうか、避難誘導者は新校舎1階と2階、旧校舎の最終点検を行う。 ・日頃から整理整頓が大切だということを押さえる。
--	--	---